EA993CL-2（低床サービスジャッキ）取扱説明書

（アメリカ）

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

下記の注意事項をよく読み、ご使用ください。

・本機を改造しないでください。
・本機はジャッキアップ専用です。ジャッキアップしたまま保持はできません。
　車両の下で検査や修理を行うときは常にジャッキスタンド（ウマ）やブロックなどで支持してください。
・本機は荷重がかかったままで動かさないでください。
・本機は荷重があるものを水平にし、安定させるために使用します。
・壁やドア、固定した機材から少なくとも0.5mほど距離をあけ、
　損傷から保護してください。
・ジャッキを使用する際は、水平な硬い表面の床や硬い地面の上で行ってください。
・車両が燃料やバッテリーの酸性の液、またその他の有害な溶液で損傷した場合には、
　本機で持ち上げないでください。
・メーカーが指定する荷揚げ位置でのみ車両を持ち上げてください。
・本機に異常が起こった場合には使用しないでください。
・荷揚げの最中には、人が車両近くにいないようにしてください。
・一月に一回、オイルをさし、点検を行ってください。

○仕様

●材質…スチール
●能力…2t
●最大揚高…500mm
●最低高…80mm
●サイズ…380×730×160mm
●ハンドル長…925mm
●重量…37.2kg

○使用の前に

1.使用前に取扱説明書を充分に読み、
　製品の操作に慣れてください。
　不適切な使用に伴う危険についても熟知してください。
2.ハンドルを組み立てます。
　ハンドルフォークにハンドルを差し込み、
　しっかりと取付ねじで固定します。（図2）
（ハンドルをハンドルフォークのソケットに
差し込む時はハンドルとフォーク内部の
連結具合をよく確認してください。）

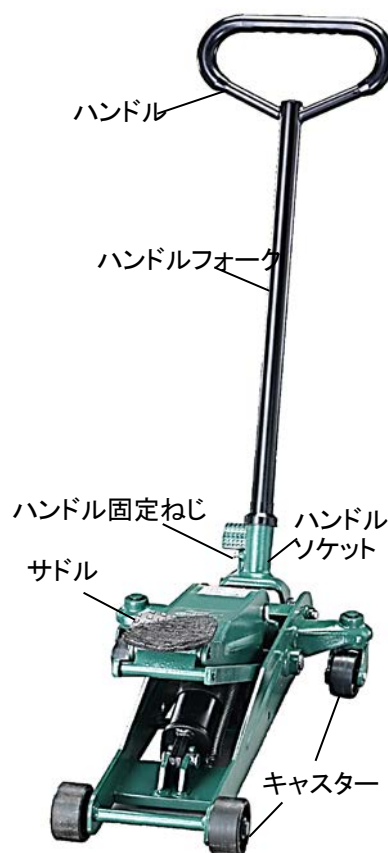



図1　ジャッキ構成

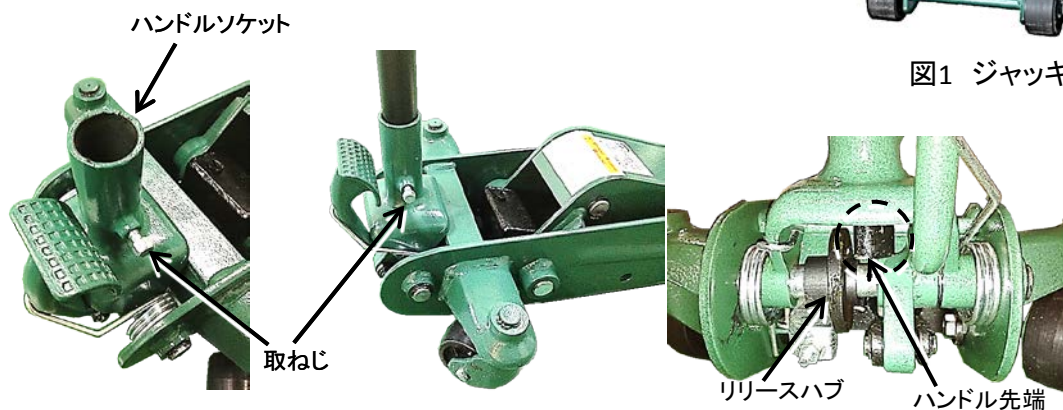



図2　ハンドルの取り付け

3.ジャッキのサドルを充分に下げてください。

サドルはハンドルを時計回りに回すと下がります。(図3)
油圧オイルの量を確認してください。
オイルプラグを取り外してください。(図4)
プラグの穴から見てオイルが10mm下であれば、正常です。
オイルプラグを元に戻します。

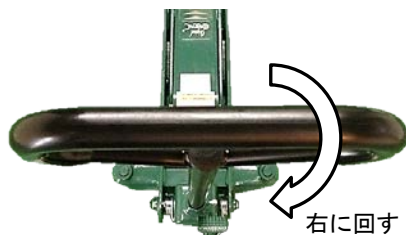



図3　サドルの降下

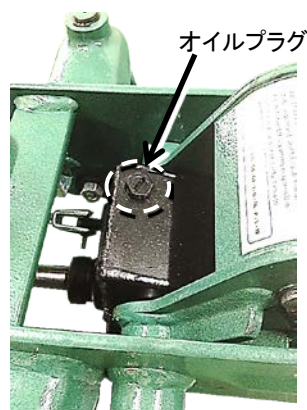



図4　オイルプラグ

4.ジャッキの車輪がスムーズに転がり、ポンプハブの操作が円滑であること、
そして荷重をかける前に無負荷でサドルを上下させて点検してください。

5.磨耗したり、損傷した部品や組品は使用しないでください。
また、メンテナンスの各部分に注油してください。

注意：能力を超えた使用をしないでください。
固い表面で水平な場所で使用してください。
ジャッキアップ作業のみに使用してください。
ジャッキアップしたまま保持はできません。
ジャッキアップ後はスタンド(ウマ)等で必ず支持してください。
指示に従わずに作業を行うと重大な人身事故につながります。

ハンドルは常に取付ねじで固定されていることを確認してください。
しっかりと締めることで使用中にハンドルが突然抜けることを防止します。

(使用方法)

―持ち上げ作業―

1.対象車両の予期せぬ滑りや動きを防止するために、
サイドブレーキをかけ対象車両の車輪に車止めを施します。
2.ジャッキのハンドルを図3のように通常の位置にしてください。
持ち上げたい場所の下にサドルを設置します。サドルの中央がくるように設置してください。
3.ポイントを確認し、ハンドルを上下にポンプするかフットペダルを踏み込み、サドルを接触させます。
ハンドルは、水平の状態から最大ストロークの三分の一程度まで上げ、
サドルが目的の高さまで上がるまでポンプを続けてください。
フットペダルを使用すると、目的の高さまで素早く簡単に上がります。
ジャッキに荷重がかかりすぎると、バルブが開き、持ち上げることができなくなります。

図5　フットペダルの使用

4.持ち上げたらすぐに、常に適切なスタンドを支持に使用してください。

注意：サドルが最大の高さでポンプを続けないでください。
シリンダーのスリーブが損傷する恐れがあります。

―降下作業―

1.スタンドを外すために対象を充分な高さに持ち上げ、注意してスタンド(一対)を取り去ります。

2.ハンドルを時計方向にゆっくり回します。1/2回転以上は回さないでください。
ハンドルをゆっくりと回転させることで、サドルが下がる速度を調整できます。
3.対象からジャッキを取り去った後、サドルを押し下げておきます。
（錆の発生とゴミの混入を防止するためです。）

注意：対象を降下させる前に工具を片付け、人は近寄らないでください。

（メンテナンス）

重要：良質の油圧オイルを使用してください。異なるタイプの油圧オイルは使用しないでください。
ブレーキフルード、タービンオイル、トランスミッションフルード、モーターオイル、
グリセリンは絶対に使用しないでください。
不適切なフルードはジャッキの予期せぬ不良や突然の負荷ロスを起こす可能性があります。
推奨されるオイルは、CASTROL HYSPIN AWS-22です。

（オイルの追加）

1.サドルを充分に下げます。ハンドルはまっすぐ水平に置きます。オイルプラグを外します。
2.プラグの穴から見てオイルが10mm下までオイルを注入します。
オイルプラグを元に戻します。

（注油）

一月一回：酸を含まないオイルを使用し、可動部にオイルをさしてください。
油圧オイルが少ない位置にないか確認してください。

三ヶ月に一回：ホイールのロックリングを外し、ボールに酸を含まないグリスをさしてください。

（清掃）

定期的にピストンなどをチェックし、錆や腐食がないかを確認してください。
必要に応じてオイルを浸した布できれいに拭いてください。
注意：機器の表面はサンドペーパーややすり等を使用しないでください。

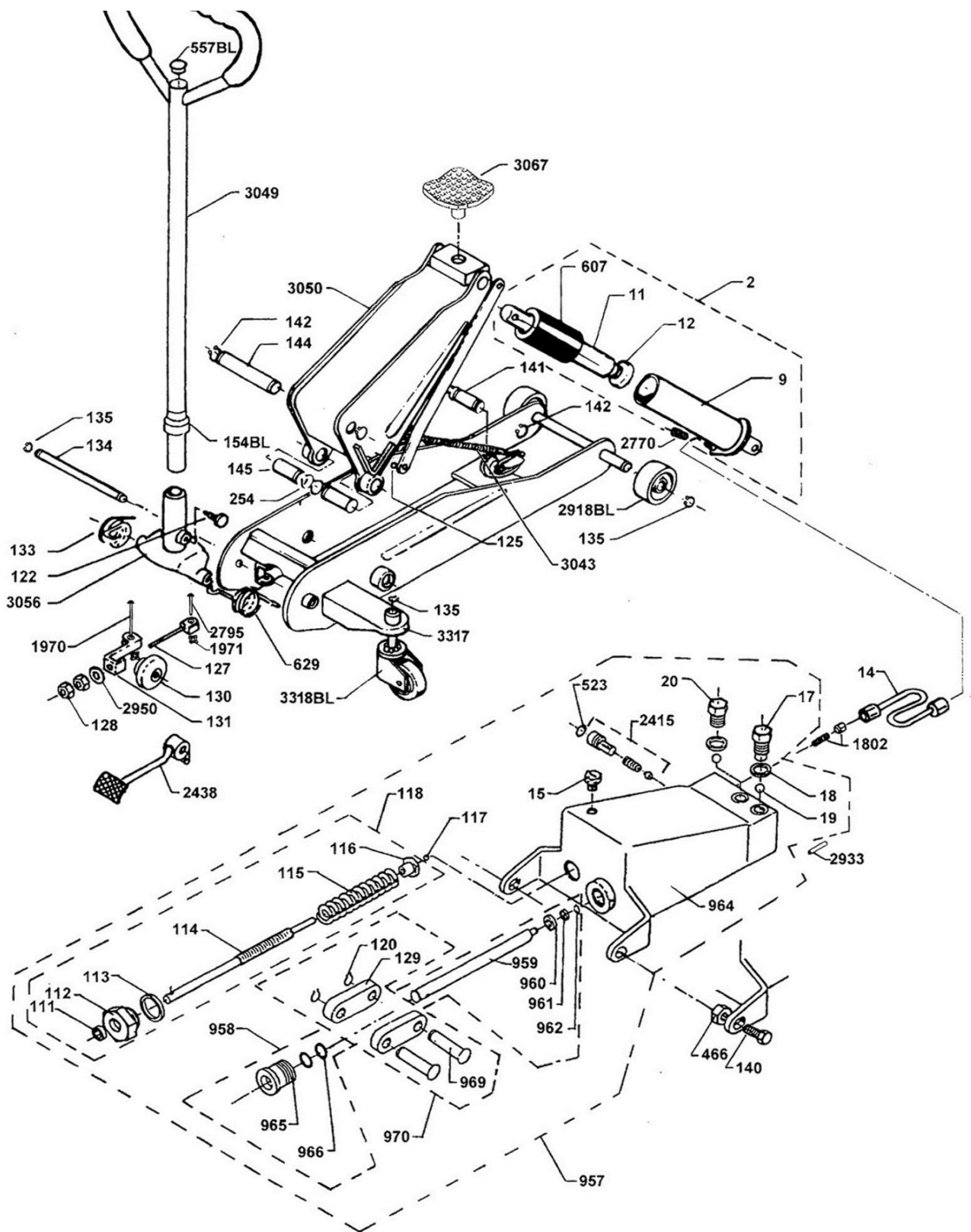
（保管）

使用しないときはジャッキのサドルは充分に下げて置いてください。

（トラブルシュート）

状況	原因	解決
・ジャッキが荷物を持ち上げない。	・リリースハブがしっかりと締まっていない。 ・過負荷状態である。	・リリースハブをしっかり締める。 ・過負荷状態をなくす。
・ジャッキが持ち上がった後に下がる。	・リリースハブがしっかりと締まっていない。 ・過負荷状態である。 ・油圧ユニットの故障	・リリースハブをしっかり締める。 ・過負荷状態をなくす。 ・修理を受ける。
・ジャッキから負荷をとった後、ジャッキ	・油圧タンクのオイルが多すぎる。	・適切なオイルレベルにするため余分なオイルを排出する。
・サドルの上がりが悪い。	・油圧オイルのレベルが下がっている。 ・システム内に空気がたまっている。	・適切なオイルレベルにする。 ・サドルを充分に下げオイルプラグを外し空気を排出させる。 オイルプラグを戻す。
・サドルが充分に上がらない。	・油圧オイルのレベルが下がっている。	・適切なオイルレベルにする。

（廃棄）

ジャッキを廃棄する場合には、所定の容器にオイルを抜き取り、
地域の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL (06)6532-6226　FAX (06)6541-0929